

事業報告 — E

((財)鳥取県栽培漁業協会への委託事業)

20. 種苗量産化試験（(財)鳥取県栽培漁業協会委託事業）

古田晋平

目的

基礎的な種苗生産技術に基づき、事業化レベルの種苗生産を実施する上での課題を解決し、生産コストの検討を行うことにより、バイ、オニオコゼ、イワガキの種苗放流事業化および種苗の安定供給体制につなげる。

試験結果の概要

(1) バイ

殻高 10mm の稚貝を 10 万個生産する技術を確立することを目的に、親貝の由来、飼育容器、卵の消毒処理、餌の種類、底質などの異なる試験区を設けて種苗生産を行った。その結果、全ての試験区で飼育不調が発生した。飼育不調は給餌開始 20 日前後に発生することが多かった。各試験区の生残率は、貝化石を敷いた試験区で、敷かない試験区より生残率が高かった他は顕著な差は認められなかった。最終的な生産個数は、殻高 6～15mm の稚貝 9,372 個だった。

(2) オニオコゼ

全長 50mm の稚魚を 1 万尾生産する技術を確立することを目的に、親魚の由来、水槽形状、エアレーションの有無、紫外線殺菌の有無、底質改良剤(マリンベッド)の有無などの異なる 17 の試験区での種苗生産を試みた。また、飼育海水の加温の有無や砂敷きの有無、設置場所の異なる親魚養成を試みた。その結果、5 試験区で 46,828 尾の着底稚魚を得た。また、親魚の斃死には振動などが影響している可能性が考えられた。取り上げた着底稚魚を中間育成し、最終的に全長 70mm 1 万尾の稚魚を得た。

(3) イワガキ

殻高 30mm の稚貝(単体)5 千個と殻高 10mm の稚貝(ホタテ殻に付着)1 千枚を生産する技術を確立することを目的に、加温養成した親貝による早期採卵の可能性の追求、餌料珪藻の低コスト技術の検討、港内での中間育成による飼育コストの低減を試みた。また、漁獲直後の親貝を用いて養殖試験に用いる種苗の生産を行った。その結果、親貝の加温飼育による早期採卵の可能性を得たが、孵化後 21 日目に行った選別に起因するトラブルで稚貝飼育は不調となった。一方、漁獲直後の親貝を用いた試験によって、殻高 30mm 稚貝(単体)1 千個、殻高 10mm の稚貝(ホタテ殻に付着)1,500 枚を得ることができた。

表1 平成17年度種苗量産化試験による生産実績

種類	目標生産量	生産実績
バイ	殻高 10mm 10 万個	殻高 6～15mm 0.94 万個
オニオコゼ	全長 50mm 1 万尾	全長 70mm 1 万尾
イワガキ	殻高 30mm(単体) 5 千個	殻高 30mm(単体) 0.1 万個
	殻高 10mm(ホタテ殻付着) 1 千枚	殻高 10mm(ホタテ殻付着) 1.5 千枚

2 1. 栽培技術普及指導（（財）鳥取県栽培漁業協会委託事業）

古田晋平

目 的

（1）漁場管理技術指導

県内各地区で行われる種苗放流事業の効果を一層高めるため、適正な放流、漁場管理、及び効果調査を漁業者と共に推進する。

（2）増養殖技術指導

県内で魚介類の養殖に取り組む者に対して、飼育技術や施設の設置方法等の技術指導を行い、養殖経営体の創出や経営の安定化につなげる。また、イワガキの稚貝付着促進事業（県補助事業）に取り組む地区に対して効率的な事業推進のための技術指導と立会および効果調査を行う。

結果の概要

（1）漁場管理技術指導

アワビ、サザエ、及びクルマエビを種苗放流に取り組む地区を対象に、それぞれ7地区11回、11地区17回、及び2地区24回の技術指導を現地で行った（表1）。指導内容は、放流適地調査、外敵駆除、放流立ち会い、放流後調査、市場調査、及びアワビ放流域における赤潮被害実態調査だった。

表1 漁場管理技術指導実績

アワビ		サザエ		クルマエビ	
放流地区	指導回数	放流地区	指導回数	放流地区	指導回数
浜村	4	田後	1	境港	22
青谷	1	福部	1	淀江	2
泊	1	賀露	1	計	24
宇野	1	酒津	1		
赤碕	1	浜村	1		
淀江	1	青谷	1		
米子	2	泊	1		
計	11	宇野	1		
		赤碕	6		
		御来屋	1		
		淀江	2		
		計	17		

（2）増養殖技術指導

ヒラメ、イワガキ、アワビ、クルマエビ、及びワカメの養殖を手がける地区を対象に、延べ156回、イワガキの稚貝付着促進事業（県補助）に取り組む地区を対象に15回の技術指導を現地で行った（表2、表3）。

表2 増養殖技術指導実績(養殖取り組み地区)

ヒラメ		イワガキ		アワビ		クルマエビ		ワカメ	
地区	指導回数	地区	指導回数	地区	指導回数	地区	指導回数	地区	指導回数
浜村	10	浜村	4	浦富	13	浜村	46	羽尾	6
境港	1	境港	4	浜村	10	計	46	浜村	17
泊	34	計	8	泊	1			夏泊	1
計	45			計	24			泊	7
								淀江	2
								計	33

表3 増養殖技術指導実績(イワガキ稚貝付着促進事業組み地区)

地区	指導回数
網代	3
賀露	2
浜村	2
夏泊	4
赤碕	3
淀江	1
計	15